

事業番号	04 07 13	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	保育士研修事業				担当課	部局	県民文化部		
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	こども・家庭課			
	施策の総合的展開	7-2 子育て先進県の実現				E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp		
		5 地域・家庭の教育力の向上				実施期間	～		

1 事業の概要

目指す姿	保育所保育士等に対する研修を実施し、その資質及び児童処遇技術等の向上を目指す。			
現状	○保育所に求められる役割が多様化していることに加え、保育制度自体が変革期を迎えていることから、研修会等を通じての情報共有・情報交換が必要である。			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】		
	県民との協働による実施：困難	地域で共通する問題への取組やどの地域にも共通する知識・技術の研鑽は、市町村単位より、県が広域ごと行うことが効率的・効果的である。		
事業内容	① 成果目標 (H25)			
	○発達障害児等の早期発見、適切な支援の実施等のための保育士研修会の開催(参加者数650人) ○保育所における食育の推進、食物アレルギー等への適切な対応のための給食担当者研修会の開催(参加者数550人)			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) H25 (決算) H26 (当初)
	1、保育所一般保育士研修会の実施	直接	保育所の一般保育士を対象とした研修会(公開保育、事例発表、グループ討議など)を保健福祉事務所単位(10か所)で実施。研修内容は地域ごと必要性の高いテーマを設定。	237 388 227
2、給食担当者研修会の実施	直接	保育所の給食担当者を対象とした研修会(調理実習、事例研究など)を保健福祉事務所単位(10か所)で実施。研修内容は地産地消など食育の推進、アレルギー対策などのテーマを設定。	350 360	
3、関東ブロック保育事業連絡協議会への参加	直接	年1回開催される関東ブロック保育事業連絡協議会に参加し、議題に対する意見交換、情報交換等を行い、知識の向上を図る。	33 24 33	
		合計	620 412 620	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越		0	0	0
	予算額				
	当初予算	582	595	620	620
	補正予算		0	0	0
	合計(A)	582	595	620	620
	Aの財源				
	国庫支出金		0	0	0
	県債		0	0	0
	その他(繰入金)	437	440	468	468
一般財源	145	155	152	152	
決算額(B)	407	416	412		
概算人件費					
職員数(人)	2.05	2.05	2.05	2.05	
概算人件費(C)	16,929	16,929	16,929	16,929	
概算事業費(B+A+C)	17,336	17,345	17,341	17,549	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
保育士研修会参加人数	656	650	716	達成	650
給食担当者研修会参加人数	470	550	537	未達成	550

目標に対する成果の状況	保育士研修会については目標を達成していることから、職員の資質向上に向け概ね効果が上がっている。また、給食担当者研修会については、保育所数が減少している中、各保育所において給食を提供しながらの職員の参加ということもあり、給食担当者研修会の参加者数は目標に達しなかったものの、開催日時等を工夫したことにより昨年度に比べ参加者数が増加し、目標値の97.6%と概ね目標を達成した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	参加者のアンケート調査等により、研修内容や実施時期の見直しを行い、更に参加者数が増えるよう努めたい。